



建長寺
興禪國



特別展

鎌倉映画土地

2017年3月17日(金) - 7月2日(日)



鎌倉市川喜多映画記念館



特別展 鎌倉映画地図

～“鎌倉映画地図”を持って、映画の街・鎌倉に出かけよう！～



宮崎祐治さんプロフィール

武蔵野美術大学卒。ディレクターとしてCMの企画・演出に長く携わったほか『世界の車窓から』などのTV番組の演出も手懸ける。並行して『キネマ旬報』などで映画をテーマにしたイラストレーションやエッセイをかいている。昨年、『東京映画地図』(キネマ旬報社)が出版された。

冊子『鎌倉映画地図』
〈4月発売予定〉
記念館でのみ取扱います。

歴史と自然の魅力溢れる鎌倉は、これまで多くの小説や映画、漫画の舞台となってきました。このたび、宮崎祐治さんのイラストレーションとともに、“鎌倉を舞台にした映画”と“街歩き”の魅力をお楽しみいただく特別展「鎌倉映画地図」を開催いたします。名作の数々を懐かしい鎌倉の風景写真とともに振り返る本展をきっかけに、映画の名場面を探しに、鎌倉の街に出かけてみませんか？

鎌倉を舞台に大ヒットを記録した映画「海街diary」のコーナーでは、本作の撮影監督である写真家・瀧本幹也さんによる写真作品の展示も見どころの一つです。鎌倉の変わらない風景と移りゆく風景を、映画の中の変遷とともにお楽しみください。

協力:「海街diary」製作委員会、瀧本幹也写真事務所、東京国立近代美術館フィルムセンター、株式会社分福【五十音順】

特別展観覧料

一般 300円(210円)
小・中学生 150円(105円)

※()内は20名以上の団体料金

映画鑑賞/トークイベント料金

一般 各1,000円
小・中学生 各500円

※チケットのご提示で企画展もご覧いただけます。
※販売枚数に達した場合、当日券の販売はございません。

チケット発売日

(各月の発売日を色で表しています)

3月の上映作品…3月 1日(水) 5月の上映作品…4月15日(土)
4月の上映作品…3月18日(土) 6月の上映作品…5月20日(土)

※原則、前月の第3土曜日から販売開始。 ※月をまたぐ作品は、前月発売分を含む。

チケットのお取り扱い店/記念館窓口・たらば書房・島森書店(鎌倉店)・上州屋(大船駅前)

中井貴恵さん トークイベント ゲスト:山内静夫さん 鎌倉の映画人 父 佐田啓二を語る

4月28日(金) 14時～ チケット発売日:3月18日(土)

1946年、松竹大船撮影所に入所し、木下恵介監督作品「不死鳥」(1947)でデビューした俳優・佐田啓二。国民的大ヒットを記録した「君の名は」(1953-54)をはじめ、小津安二郎、小林正樹など映画史に残る名匠の作品に出演しました。佐田啓二氏の御息女である中井貴恵さんと、元小津組プロデューサーである山内静夫さんに、鎌倉・円覚寺に眠る佐田啓二氏の思い出を語っていただきます。

中井貴恵さん(女優/エッセイスト)

大学在学中、「女王蜂」のヒロインでデビューし、1983年、「制覇」で日本アカデミー賞助演女優賞受賞。以後、映画、テレビ等で活躍し、数々のエッセイも出版。2009年に、幼いころ可愛がられた想い出のある、小津安二郎監督作品の音語り公演を山内静夫氏と共に開始し、各地で注目を集めている。



山内静夫さん(元映画プロデューサー)

1948年、松竹株式会社入社。1956年、「早春」より小津安二郎監督作品のプロデューサーとなり、佐田啓二氏出演の「彼岸花」(1958)、「秋日和」(1960)なども担当すると共に、大船撮影所の隆盛に貢献した。また、2004年から2012年まで鎌倉文学館館長を務めている。前鎌倉同人会理事長。



4月28日(金) 10:00～ 4月29日(土) 祝 10:30～ 14:00～ 4月30日(日) 14:00～

喜びも悲しみも幾歳月



1957年/カラー/35mm/160分
監督:木下恵介
出演:佐田啓二、高峰秀子、田村高廣、中村賀津雄、有沢正子、桂木洋子

日本各地の灯台を転々とし、苛酷な中で慎ましく生きる灯台守夫婦の25年間を描いた年代記。公開当時大ヒットを記録した。松竹大船の看板俳優として活躍し、鎌倉の地に眠る佐田啓二の主演作。

是枝裕和監督 トークイベント 映画『海街diary』と鎌倉

7月2日(日) 15時40分～ チケット発売日:5月20日(土)

鎌倉を舞台に、三姉妹と腹違いの妹が四季を通して本当の家族になるまでを描いた映画「海街diary」。本作は第68回カンヌ映画祭に出品され、その後、世界中で公開されました。監督・脚本・編集を手掛けた是枝裕和監督にお越しいただき、本作と鎌倉とのエピソードを中心にお話しいただきます。



是枝裕和さん(「海街diary」監督・脚本)

1962年、東京生まれ。1987年に早稲田大学卒業後、テレビマンユニオンに参加。主にドキュメンタリー番組を手がける。1995年、初監督映画「幻の光」がヴェネチア国際映画祭で金のオゼッラ賞受賞。2004年、「誰も知らない」がカンヌ映画祭にて史上最年少の最優秀男優賞(柳楽優弥)受賞。2013年、「そして父になる」がカンヌ映画祭審査員賞受賞。2014年に独立し、制作者集団「分福」を立ち上げる。最新作「三度目の殺人」は2017年9月公開。第8回伊丹十三賞受賞。著書に「映画を撮りながら考えたこと」(ミシマ社)などがある。

6月30日(金) 10:30～ 14:00～ 7月1日(土) 13:00～ 7月2日(日) 13:00～

海街diary



©2015吉田秋生・小学館
フジテレビジョン 小学館 東宝 ギャガ

2015年/カラー/DCP/128分
監督・脚本:是枝裕和
原作:吉田秋生「海街diary」(小学館「月刊フラワーズ」連載)
音楽:菅野よう子 撮影:瀧本幹也
出演:綾瀬はるか、長澤まさみ、夏帆、広瀬すず他
かつて家族を捨てた父の死をきっかけに、腹違いの妹の存在を知り、共に暮らし始めた四姉妹の日々を瑞々しく切り取る。豪華女優陣の共演、何気なくも美しい風景など、鎌倉と映画の魅力が詰まった大ヒット作。

3月28日 水 10:30~14:00 3月29日 木 14:00~ 3月30日 金 14:00~

晩春 デジタルリマスター版



1949年/白黒/DCP/108分
監督:小津安二郎
出演:笠智衆、原節子、月丘夢路、杉村春子、宇佐美淳、三宅邦子
戦後の小津の作風を確立した代表作。茶道や能といった日本の伝統文化や、鎌倉、京都の趣きある風景が、笠智衆と原節子が演じる父と娘の物語に花を添える。鎌倉駅や鶴岡八幡宮など各所が登場。

3月31日 金 10:30~14:00 4月1日 土 14:00~ 4月2日 日 14:00~

麥秋 デジタルリマスター版



1951年/白黒/DCP/124分
監督:小津安二郎
出演:原節子、笠智衆、淡島千景、三宅邦子、杉村春子、井川邦子
「晩春」から2年、小津がふたたび原節子を主演に迎えて、娘の結婚を通して家族のあり方が変わっていく様を描いた作品。鎌倉大仏や由比ヶ浜など、変わらない鎌倉の風景が味わえる。

4月11日 火 10:30~14:00 4月12日 水 14:00~ 4月13日 木 14:00~

辻が花



1972年/カラー/35mm/88分
監督:中村登 原作:立原正秋
出演:岩下志麻、佐野守、中村玉緒、宝生あやこ、松坂慶子、笠智衆
「幻の花」ともいわれ、室町、桃山、慶長の頃に一世を風靡した染め物「辻が花」をモチーフに、夫に裏切られた女性が、周囲からの目と年下の男性の間で揺れ動く姿を描く。岩下志麻の着物姿が鎌倉の街によく映える。

4月14日 金 10:30~14:00 4月15日 土 14:00~ 4月16日 日 14:00~

狂った果実



1956年/白黒/35mm/86分
監督:中平康 原作:石原慎太郎
出演:石原裕次郎、津川雅彦、北原三枝、岡田真澄、東谷暎子
太陽族ブームを背景に、鎌倉・逗子に暮らす裕福で無軌道な若者たちをスタイリッシュに描く。石原裕次郎の実質的デビュー作であり、フランス、ヌーヴェル・ヴァーグの監督たちに影響を与えた作品としても知られる。

4月25日 火 10:30~14:00 4月26日 水 14:00~ 4月27日 木 14:00~

黄色いからす



1957年/カラー/35mm/103分
監督:五所平之助
出演:淡島千景、伊藤雄之助、設楽幸嗣、田中絹代、久我美子、多々良純
長い抑留生活を経て復員し、会社に溶け込めない父親と、初めて会う父親になじめず、家族から疎外されていく息子を通して、戦後の家族の危機と再生を描いたホームドラマの秀作。鎌倉彫の博古堂経営者を田中絹代が演じた。

5月16日 火 10:30~14:00 5月17日 水 14:00~ 5月18日 木 14:00~

わが恋わが歌



1969年/カラー/35mm/100分
監督:中村登
出演:中村勘三郎、岩下志麻、八千草薫、竹脇無我、中村賀津雄、緒形拳
鎌倉アカデミアで教鞭をとった歌人・吉野秀雄の生き様を、山口瞳ら吉野に魅せられた教え子たちとの交流を通して描いた文芸映画。豪快で人間味溢れる性格ながら病や貧困に苦しんだ吉野の姿が浮かび上がる。

5月19日 金 10:30~14:00 5月20日 土 14:00~ 5月21日 日 14:00~

ニシユキヒコの恋と冒険



2014年/カラー/DCP/122分
監督:井口奈巳
原作:川上弘美
出演:竹野内豊、尾野真千子、成海璃子、本田翼、麻生久美子、阿川佐和子
どんな女性も虜にしてしまうにも関わらず、最後には必ず去られてしまうニシユキヒコの恋愛遍歴が、女性監督ならではの視線で描かれる。海を臨む鎌倉の景色が心地よい。

5月30日 火 10:30~14:00 5月31日 水 14:00~ 6月1日 木 14:00~

ツイゴイネルワイゼン



1980年/カラー/35mm/144分
監督:鈴木清順 原作:内田百閒
出演:原田芳雄、大谷直子、藤田敏八、大楠道代、鷹亦兒、樹木希林
鈴木清順監督後期の代表作として知られる「浪漫三部作」の第一作。釈迦堂切通しなど鎌倉の名所が、生と死、現実と幻想が交差する世界の中で効果的に登場するのは、鎌倉アカデミア出身の清順監督ならでは。

6月2日 金 10:30~14:00 6月3日 土 14:00~ 6月4日 日 14:00~

陽炎座



1981年/カラー/35mm/139分
監督:鈴木清順 原作:泉鏡花
出演:松田優作、大楠道代、中村嘉津雄、楠田枝里子、原田芳雄、加賀まりこ
前作に続いて、絢爛豪華な色彩、艶やかな映像など、清順美学が堪能できる一作。新派の劇作家を演じる松田優作の新たな魅力が引き出されている。物語の設定は東京と金沢だが、鎌倉で撮影された場面も多い。

6月13日 火 10:30~14:00 6月14日 水 14:00~ 6月15日 木 14:00~

ウォーナーの謎のリスト



2016年/カラー/Blu-ray/116分
監督:編集:金高謙二
証言者:小泉晋弥、色川大吉、山口静一、増山太郎、ジヨン・ダワー、阿刀田高
第二次世界大戦中、日本の文化財を守るべく奔走した米国人美術家ラングドン・ウォーナーらの知られざる足跡を追ったドキュメンタリー。鎌倉では円覚寺・舍利殿と鎌倉大仏が保護リストに含まれ、鎌倉駅西口広場にはウォーナーの碑が建つ。

6月16日 金 10:30~14:00 6月17日 土 14:00~ 6月18日 日 14:00~

はつ恋



1975年/カラー/35mm/86分
監督:小谷承靖
出演:仁科明子、井上純一、二谷英明、南風洋子、岸田森、根岸明美
ロシア文学を代表するツルゲーネフの「初恋」を、当時の鎌倉で撮影し映画化した作品。清纯派と言われた仁科が男たちを翻弄する女性を大胆に演じた。有島生馬邸など別荘文化が栄えた鎌倉ならではの風景もみどころ。

6月27日 火 10:30~14:00 6月28日 水 14:00~ 6月29日 木 14:00~

山の音



1954年/白黒/35mm/95分
監督:成瀬巳喜男 原作:川端康成
出演:原節子、山村聰、上原謙、杉葉子、長岡輝子、丹阿弥谷津子
川端康成が、鎌倉を舞台に戦後の家族のあり方を描き、戦後日本文学の最高峰と謳われる代表作の映画化。原節子と山村聰が、自然豊かな鎌倉の土地を背景に、互いを労わり合う嫁と舅を演じる。

* 画・音の良好でないものがあります。場合によっては上映素材・作品の変更がありますことをご了承ください。

鎌倉シネサロンの今、「鎌倉アカデミア」とは

5月14日(日) 13時30分～ 料金:一般1,000円 小・中学生500円

チケット発売日:4月15日(土)

鎌倉・光明寺に開校した鎌倉アカデミアの足跡を追ったドキュメンタリーの上映と、本作の監督である大嶋拓さん、その父であり鎌倉アカデミアの教授でもあった劇作家・青江舜二郎の戯曲集を出版している春風社代表の三浦衛さんによるトークイベントを開催します。

13:30～ 「鎌倉アカデミア 青の時代」上映 *劇場公開に先駆け、地元鎌倉での特別上映となります。

15:40～ 大嶋拓さん×三浦衛さんトークイベント *約40分を予定

鎌倉アカデミア 青の時代 ーある「自由大学」の記録ー



2017年/カラー/Blu-ray/119分

構成・撮影・編集・監督:大嶋拓

出演:鈴木清順、岩内克己、勝田久、加藤茂雄、川久保潔、岡喜一、若林一郎ほか

昭和21年に開校し、わずか4年半で閉校となった鎌倉アカデミアは戦後の日本に多くの才能を羽ばたかせた。20人におよぶ関係者の証言と歴史的資料を駆使して、知られざる「自由大学」の真実を描く。

協力:鎌倉アカデミアを伝える会

『鎌倉映画地図』

散策ツアー

5月25日(土) ゲスト:宮崎祐治さん

14時00分～15時30分

[参加人数]15名(先着順)

[参加費]無料(入館料のみ)

[集合場所]記念館

[お申し込み]

4月25日より受付開始。

TEL:0467-23-2500、

FAX:0467-23-2503で、

お名前・連絡先を

お伝えください。

*当館周辺の散策を予定しております。



G・Wシネマセレクション

映画鑑賞料金:一般1,000円 小・中学生500円

チケット発売日:4月15日(土)

イングリッド・バーグマン ～愛に生きた女優～



©Mantaray Film AG. All rights reserved. Photo: The Henry Reinson Center, Austin

2015年/スウェーデン/カラー・白黒/DCP/114分

監督:スティーグ・ビョークマン

出演:イングリッド・バーグマン、イザベラ・ロッセリーニ、リヴ・ウルマン、シガーニー・ウィーヴァー

「カサブランカ」「ガス燈」などの名作に出演し、3度のアカデミー賞に輝いた世界的な女優イングリッド・バーグマン。生誕100年を記念して作られた本作では、4人の子どものインタビュー、日記やプライベートフィルムを通して、周囲の批判を怖れずに家族への愛と信念を貫いた、一人の女性の波乱万丈な人生が浮かび上がる。

ニーゼと光のアトリエ



©TvZero

2015年/ブラジル/カラー/DCP/109分

監督:ホベルト・ベリネール

出演:グロリア・ピレス、シモーネ・マゼール、ジュリオ・アドリアオン、クラウヂオ・ジャボランチ

1940年代、ブラジルの精神病院を舞台に、当時主流だった電気ショックを否定し、革新的な芸術療法を取り入れて患者の尊厳を取り戻すなど、大きな功績を残した実在の女性医師、ニーゼ・タ・シルヴェイラの孤独な戦いを描いた伝記ドラマ。東京国際映画祭でグランプリと最優秀女優賞を獲得し、深い感動を呼んだ話題作。

帰ってきたヒトラー



©2015 Mythos Film Produktions GmbH & Co. KG Constantin Film Produktion GmbH Clausussen & Wöbke & Putz Filmproduktion GmbH

2015年/ドイツ/カラー/DCP/116分

監督:テヴィッド・ヴェント

出演:オリヴァー・マッシュ、ファビアン・フッシュ、クリストフ・マリア・ヘルプスト、カッチャ・リーマン

死んだはずのヒトラーが現代にタイムスリップし、モノマネ芸人と誤解されて大ブレイクしていくさまを風刺的に描き、世界的大ベストセラーとなった同名小説の映画化。蘇ったヒトラーがその自信に満ちた演説で現代の大衆の心を掴んでいく様子は、コメディでありながら現代社会の危うさを露呈させる。昨年の大ヒット問題作。

| 上映スケジュール | 10:30～ | 14:00～ |
|----------|---------------------------|---------------------------|
| 5月2日(火) | イングリッド・バーグマン ～愛に生きた女優～ | ニーゼと光のアトリエ |
| 5月3日(水祝) | 帰ってきたヒトラー | イングリッド・バーグマン ～愛に生きた女優～ |
| 5月4日(木祝) | ニーゼと光のアトリエ | 帰ってきたヒトラー |
| 5月5日(金祝) | イングリッド・バーグマン ～愛に生きた女優～ | ニーゼと光のアトリエ |
| 5月6日(土) | | 帰ってきたヒトラー |
| 5月7日(日) | | イングリッド・バーグマン ～愛に生きた女優～ |



鎌倉市春の施設公開のご案内 旧川喜多邸別邸(旧和辻邸) 一般公開(無料)

4月8日(土)、9日(日) 10:00～16:00 *荒天時は公開が中止となる場合があります。

当館敷地内に建つ「旧川喜多邸別邸(旧和辻邸)」は平成22年9月に鎌倉市で初めて「景観重要建造物」に指定され、年2回、春と秋に一般公開しています。

Kamakura City Kawakita Film Museum 鎌倉市川喜多映画記念館

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12

TEL: 0467-23-2500

| 開館時間 | 休館日 |
|----------------------------|--|
| 9:00～17:00 (入館は16:30まで) | 毎週月曜日 (ただし3月20日、5月1日は開館、 3月21日◎) |

※駐車設備がありませんので、公共交通機関をご利用ください。
主催/川喜多・KBSグループ(鎌倉市川喜多映画記念館指定管理者)
HP:<http://www.kamakura-kawakita.org>

鎌倉市川喜多映画記念館

